取調べの可視化（取調べの全過程の録画）の実現を求める請願書

２００８年　　月　　日

衆議院議長　殿
参議院議長　殿

【請願の趣旨】

密室での取調べが，捜査官による暴行・脅迫・利益誘導等を誘発し，虚偽の自白による冤罪を多数生み出してきたことは周知の事実です。密室での違法・不当な取調べに起因する冤罪は後を絶ちません。

また，密室の取調べ状況が裁判で争われると，裁判の長期化・複雑化が避けられません。２００９年５月までに実施される裁判員制度では，そのような長期裁判は不可能です。取調べを全過程録画しておけば，取調べの様子を事後に検証することが容易になり，裁判の長期化を避けることができます。

よって，以下の請願事項を求めます。

【請願事項】

取調べの可視化（取調べの全過程の録画）制度を導入することを求めます。

【請願者】

氏　名	住　所

※　上記個人情報は本目的以外には使用しません。

※　ご本人の自署により，都道府県名からご記入下さい。本請願には，同一人による重複署名はできません。

署名集約団体　日本弁護士連合会　〒100-0013 東京都千代田区霞が関１丁目１番３号
電話 03(3580)9844　FAX 03(3580)9920

集約弁護士会　　取扱団体

第一東京弁護士会